

回覧

# 青崎ミラー 第153号

こむねっと青崎社協

検索

## ～ごあいさつ～

今年度も新型コロナウイルス蔓延により、地区の様々な行事も中止や延期せざるを得ない状況となっています。

ワクチン接種も進んでおりますが、引き続き三密を避け、マスク着用、消毒、換気等の対策を十分に注意して行いながら、事業を進めていきたいと思っております。地域の皆さんで支えあいのできる環境を作り、防災・防犯・高齢者支援等を充実し、安全安心なまちづくりを目指して地域団体やボランティアバンク等と連携し取り組んでまいります。

令和3年6月



青崎地区社会福祉協議会  
会長 東 和行



## ～新任あいさつ～

これまで青崎学区子ども会育成協議会会長として地域の子どもの健全な育成に取り組んでまいりました。これからも社協の副会長という立場から広く子ども達の育成に尽力していきたいと思っております。

ところが現在、コロナの影響で子ども会の活動もほぼ休止状態となっております。コロナ禍での子ども会活動を模索しておりますが、なかなか実践できておりません。地域で子ども達の安全を守りながら健全な心の育成をするには子ども会は必要不可欠だと思います。これからも、多くの方々の意見を聞きながら頑張りたいと思っております。皆様のご協力をお願い致します。

令和3年6月



青崎地区社会福祉協議会  
副会長 佐藤 充信

## ～退任あいさつ～

この度、青崎社協副会長を退任することとなりました。地域の皆さまには大変お世話になりました。心から御礼を申し上げます。ありがとうございました。

令和3年6月

青崎地区社会福祉協議会  
前副会長 東 邦英

## ☆新任理事紹介☆

よろしくお願  
いたします

濱田 博文 氏  
(向洋本町町内会長)

東 和行氏 退任

高田 省吾 氏  
(堀越一丁目町内会長)

杉本 泰造氏 退任

# 令和2年度 収支報告 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

青崎地区社会福祉協議会

(収入の部)

(支出の部)

科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
前年度繰越金	1,016,365	事 務 費	70,840
		会 議 費	40,974
会 費	278,280	福祉事業費	375,629
区社協助成金	522,680	コミュニティ活動費	10,000
市社協応援金	100,000	各種団体助成金	240,000
2団体より応援金残	140,000	その他事業費	320,791
雑収入	37,245	交 際 費	6,446
		次年度繰越金	1,029,890
合 計	2,094,570	合 計	2,094,570

- ◆◆各応援金を活用し、「福祉事業費」「その他事業費」として、  
高齢者世帯と子ども世帯にマスク・消毒スプレーを配布しました◆◆



## ～令和3年度事業計画～

全国的な問題でもありますが、青崎地区でも高齢化や人口減少が進み、地域のつながりが希薄になっております。そういう時、地域での横のつながりを太く持つことが大切だと思います。青崎社協も地域で支え合いのできる環境をつくり、防災・防犯にも力を入れ、安全・安心のまちづくりを進めていきます。

### 1. 福祉のまちづくり事業の推進

- 1) 近隣ミニネットワークづくり推進事業
- 2) 「青崎あったかねっと」の推進事業
- 3) ボランティア活動推進事業

### 2. 子どもの健全育成と福祉の推進活動

- 1) 各町で登下校の見守り活動と防犯パトロールの実施
- 2) 声かけ、あいさつ運動の推進を図る
- 3) 各町子ども会活動、子ども会育成協議会の活動に協力する

### 3. 災害に強いまちづくり推進

- 1) 想定外の災害を想定し、各町で避難訓練等行う
- 2) 火災予防について・・・消火器取り扱い訓練の実施、住宅用火災警報器の点検・交換（使用期限10年）の実施

### 4. 新型コロナウイルスの対策についての推進事業

- 1) ワクチン接種の際の案内等に対する助言、支援
- 2) 必要な物品等の申し出がある場合、援助・支援を進める



今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、広島市の対応に準じ、地区行事を延期または中止することがありますのでご理解ください。

## 社協(町内会自治会、福祉委員含む)・老連・民児協合同研修会

コロナ禍も2年目となって見守り活動も難しい中、地区内では認知症の方の対応について相談が増えてきました。そこで3月13日「認知症意見交換会」を企画して、地区内の6金融機関、介護施設にも参加をお願いしました。認知症サポート医の福島太郎先生(松田病院)の講演で基礎知識を学んだ後、会場を分けて一部オンラインを活用してのグループワーク。



各町参加者からは「帰り道がわからない高齢者を保護した」「近所の人時々幻覚を訴えている」等の体験が話され、金融機関からは「通帳紛失で何度も来店されるので、包括支援センターに相談した」「不審な高額商品の代金を送金しようとする方を2時間説得した」等対応に苦慮された事例がありました。身近な気づきを関係機関につなげる包括ケアシステムの重要性を再認識しました。金融機関の皆さんから「とても参考になった。地域のためにこれからも協力したい」との感想があり、研修会后、注意喚起の情報など寄せてくださっています。認知症の方だけでなく不安を抱えた皆さんが“お互い様”で安心して暮らせるよう、地域の温かな連携を強めていきたいと思ひます。



## ボランティアバンク研修会

7月24日 於 マツダふれあい会館

今夏、記録的な大雨が続き青崎学区でも2度避難所(青崎小学校)が開設されました。

これに先立ち、近年の気象状況や避難情報に対する心得が大切だという事で研修会を開催し、気象予報士 渡部俊夫さん(向洋本町)には「気象災害から身を守るには」を、防災士 谷本憲五さん(ヒューマンズプラザ青崎)には「避難生活で役に立つ物の話」をテーマにそれぞれ講演していただきました。

身近に知ることのできる天気予報などを他人事にせず、自分や周りの安全に役立てて行動できるよう学び、災害時簡単に作って便利に使える日用品を教えてくださいました。

研修した事をいざという時家庭や地域で実践できるよう申し合わせました。



気象予報士の渡部氏



防災士の谷本氏



広告とビニール袋で作ったコップ等

広島市市長永年表彰(10年)  
民生委員児童委員 立石美紀(東青崎町)  
お世話になります

## 詐欺です!



金融機関から「実在する職員の名前を聞き出そうとする不審な電話があり、詐欺に利用する目的と思われるので注意してください」と情報をいただきました。知っている名前だと安心して教えてしまわないよう気をつけてください。おかしいと思ったら、金融機関に直接連絡して確認しましょう。

## 青崎あったかねっと



大州地域包括支援センターと一緒に取り組んでいる「青崎あったかねっと」は、現在6町内会に賛同いただき体制を整えて、担当の社会福祉士 奥島さんとの訪問、緊急連絡カードの配布が進んでいます。生活や体調などが気にかかる方を、担当を決めて日常の中で少し気にかけていただくことが大きな助けとなります。まだ取り組みが難しい町内会もありますが、理解を深めていただき地域で足並み揃えていけるよう努めてまいります。介護、認知症、障がい、子育て、ヤングケアラー等による問題は、明日自分自身のことになるかもしれません。専門機関につなげて共に支えていけるよう“ご近助”の温かいネットワークを広げていきたいと思えます。地域の皆さんのお力添えをお願いいたします。

## ワクチン接種済証は大切に



新型コロナウイルスのワクチン接種がすすんでいます。接種後に受け取る「予防接種済証」は保管しておきましょう。病院を受診する際、特に発熱がある時には、接種済みかどうか診断基準になるので持参するとよいそうです。インフルエンザや肺炎球菌予防接種済証も合わせてお薬手帳に貼っておくとよいでしょう。



「青崎ミラー」やっと発行！ 2年目のコロナ禍、地域の行事の多くが中止、延期となり、青崎ミラー編集会議もなかなか開くことができなかつたため、一年ぶりの発行となりました。少しでも地域の取り組みがお届けできるよう、今後も努めますのでよろしくお願いいたします。  
青崎社協広報委員長(新任) 今村 弘美